



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 山陰合同銀行
 コード番号 8381 URL <https://www.gogin.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 山崎 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 井田 修一 TEL 0852-55-1000
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,906	3.5	3,643	33.2	2,450	34.9
2020年3月期第1四半期	22,711	17.1	5,457	20.8	3,767	17.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 11,436百万円 (52.7%) 2020年3月期第1四半期 7,489百万円 (61.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.75	15.71
2020年3月期第1四半期	24.14	24.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,555,487	371,050	5.6
2020年3月期	5,691,460	361,650	6.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 369,543百万円 2020年3月期 360,045百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		13.00	20.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		7.00		9.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	42,300	3.5	7,000	25.1	4,700	26.0	30.21
通期	84,700	6.2	13,000	20.0	8,700	16.8	55.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P.7「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	156,977,472 株	2020年3月期	156,977,472 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,261,346 株	2020年3月期	1,417,865 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	155,568,087 株	2020年3月期1Q	156,020,744 株

(注)2020年3月期及び2021年3月期1Qの期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当行株式数(いずれも1,007,100株)を含めておりません。

また、2020年3月期1Q及び2021年3月期1Qの期中平均株式数(四半期累計)を算定するにあたり、株式給付信託(BBT)が保有する当行株式の期中平均株式数(537,700株及び1,007,100株)を控除する自己株式数に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
3. 四半期決算補足説明資料	8
(1) 利益の状況 (連結)	8
(2) 利益の状況 (単体)	8
(3) 預金・貸出金・有価証券の状況 (単体)	9
(4) リスク管理債権 (単体)	9
(5) 金融再生法開示債権 (単体)	9
(6) 有価証券の評価差額 (連結)	10
(7) 自己資本比率 (国内基準)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当行は、「地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク」を経営理念とし、経営の健全性の確保を図りながら、地域のためにお役に立つことを基本方針としております。この基本方針のもと、地域産業の競争力強化とお取引先の企業価値向上に向けた徹底的なサポート、個人のお客様向けコンサルティング機能の高度化によるきめ細やかなサービスを実践することで、地域経済の活力を引き出し、持続可能な地域社会の発展と当行の企業価値の向上を目指し諸施策を展開しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は当地域にも及んでおり、当行においても対面営業の制約等が生じております。当行では、お客様・従業員等の安全確保を図りながら、安定的な金融サービスの提供を最優先に対応しております。また、当行のお取引先企業の業況や地域経済の悪化に対しては、資金繰り支援や事業支援などの金融サービスを通じて、全力で支えることが当行の使命であると認識し、最優先課題として取り組んでおります。

このような中、当第1四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比18億円減少の36億円（中間期業績予想比進捗率52.0%）となりました。これは債券関係損益の増加を主因にその他業務利益が増加しましたが、有価証券利息配当金の減少により資金利益が減少したほか、取引先企業の業況悪化に伴い与信費用が増加したことなどによるものです。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比13億円減少の24億円（同52.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金等（譲渡性預金を含む）は、4兆3,896億円（期中1,684億円増加）となりました。これは、金融機関部門で減少した一方で、個人・法人・公金部門では増加したことによるものです。

貸出金は、個人向け・法人向けともに増加したことから、3兆3,868億円（期中644億円増加）となりました。

有価証券は、リスクを見極めながら市場動向に応じた適切な運用に努めた結果、1兆7,338億円（期中788億円増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2021年3月期第1四半期までの業績は概ね順調に推移しております。新型コロナウイルス感染症については、本年9月頃まで影響が続くものとした仮定に変更はなく、2020年5月13日に公表した2021年3月期の中間期及び通期の業績見通しに変更はありません。

なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	571,248	1,300,138
買入金銭債権	11,230	10,742
商品有価証券	89	155
金銭の信託	4,955	4,990
有価証券	1,654,917	1,733,807
貸出金	3,322,376	3,386,868
外国為替	6,324	8,513
リース債権及びリース投資資産	30,392	30,080
その他資産	71,585	67,620
有形固定資産	35,259	34,847
無形固定資産	5,596	5,411
繰延税金資産	3,663	83
支払承諾見返	14,323	13,900
貸倒引当金	△40,465	△41,620
投資損失引当金	△39	△51
資産の部合計	5,691,460	6,555,487
負債の部		
預金	3,911,792	4,210,901
譲渡性預金	309,400	178,700
コールマネー及び売渡手形	108,793	776,291
債券貸借取引受入担保金	443,097	420,947
借入金	447,717	519,886
外国為替	24	7
その他負債	78,222	47,812
賞与引当金	970	-
退職給付に係る負債	11,195	10,930
株式給付引当金	388	423
役員退職慰労引当金	77	59
睡眠預金払戻損失引当金	350	340
その他の偶発損失引当金	981	940
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	312	1,152
再評価に係る繰延税金負債	2,161	2,141
支払承諾	14,323	13,900
負債の部合計	5,329,809	6,184,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
資本金	20,705	20,705
資本剰余金	21,385	21,381
利益剰余金	283,495	283,941
自己株式	△947	△821
株主資本合計	324,637	325,207
その他有価証券評価差額金	38,191	46,944
繰延ヘッジ損益	8	7
土地再評価差額金	2,522	2,478
退職給付に係る調整累計額	△5,314	△5,093
その他の包括利益累計額合計	35,407	44,336
新株予約権	281	170
非支配株主持分	1,323	1,336
純資産の部合計	361,650	371,050
負債及び純資産の部合計	5,691,460	6,555,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年6月30日)
経常収益	22,711	21,906
資金運用収益	14,946	13,415
(うち貸出金利息)	8,180	8,461
(うち有価証券利息配当金)	6,035	4,607
役務取引等収益	2,560	2,508
その他業務収益	4,312	4,491
その他経常収益	891	1,490
経常費用	17,253	18,262
資金調達費用	1,350	597
(うち預金利息)	429	340
役務取引等費用	1,031	1,055
その他業務費用	4,246	3,918
営業経費	10,557	10,518
その他経常費用	68	2,173
経常利益	5,457	3,643
特別利益	-	4
固定資産処分益	-	4
金融商品取引責任準備金取崩額	-	0
特別損失	121	83
固定資産処分損	117	25
減損損失	3	58
金融商品取引責任準備金繰入額	0	-
税金等調整前四半期純利益	5,336	3,564
法人税、住民税及び事業税	1,089	647
法人税等調整額	478	459
法人税等合計	1,567	1,106
四半期純利益	3,769	2,457
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,767	2,450

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)
四半期純利益	3,769	2,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,640	8,758
繰延ヘッジ損益	△75	△1
退職給付に係る調整額	155	221
その他の包括利益合計	3,719	8,978
四半期包括利益	7,489	11,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,492	11,422
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

一部の連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した仮定については重要な変更はありません。

3. 四半期決算補足説明資料

(1) 利益の状況（連結）

連結ベースの経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の状況は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおりであります。

(単位：百万円) (単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月 1日 至2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2020年4月 1日 至2020年6月30日)	増 減	(参 考) 中間期予想計数 (自2020年4月 1日 至2020年9月30日)
経常収益	22,711	21,906	△ 805	42,300
経常利益	5,457	3,643	△ 1,814	7,000
親会社株主に帰属する四半期（中間）純利益	3,767	2,450	△ 1,317	4,700

(注) 「(参考)中間期予想計数(自2020年4月1日 至2020年9月30日)」は、2020年5月13日に公表したものであります。

(2) 利益の状況（単体）

当行単体の経常利益は、前年同四半期累計期間比16億円減少の37億円（中間期業績予想比進捗率55.2%）となりました。これは、債券関係損益の増加や経費の減少といった利益増加要因があった一方で、有価証券利息配当金の減少による資金利益の減少や、与信費用の増加といった利益減少要因があったことなどによるものであります。また、特別損失として清算予定の子会社株式評価損を9億円計上しております。この結果、四半期純利益は21億円減少の15億円（同43.6%）となりました。

(単位：百万円) (単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月 1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月 1日 至2020年6月30日)	増 減	(参 考) 中間期予想計数 (自2020年4月 1日 至2020年9月30日)
経常収益	18,603	17,587	△ 1,016	33,600
業務粗利益	14,581	14,284	△ 297	
資金利益	13,647	12,874	△ 773	
うち投資信託解約益	1,574	64	△ 1,510	
役務取引等利益	1,295	1,199	△ 96	
その他業務利益	△ 361	210	571	
うち債券関係損益	△ 420	149	569	
経費	9,752	9,628	△ 124	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	-	169	169	
業務純益	4,829	4,486	△ 343	9,900
実質業務純益	4,829	4,656	△ 173	
コア業務純益	5,249	4,506	△ 743	9,700
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	3,675	4,441	766	
臨時損益	625	△ 730	△ 1,355	
うち不良債権処理額 (B)	△ 8	880	888	
うち個別貸倒引当金繰入額	-	921	921	
うち貸倒引当金戻入益 (C)	169	-	△ 169	
うち株式等関係損益	△ 17	△ 106	△ 89	
経常利益	5,454	3,756	△ 1,698	6,800
特別損益	△ 117	△ 1,073	△ 956	
税引前四半期純利益	5,336	2,682	△ 2,654	
法人税等合計	1,594	1,112	△ 482	
四半期(中間)純利益	3,742	1,570	△ 2,172	3,600
《参考》与信費用 (A) + (B) - (C)	△ 177	1,050	1,227	

(注) 1. 「(参考)中間期予想計数(自2020年4月1日 至2020年9月30日)」は、2020年5月13日に公表したものであります。

2. 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額
3. コア業務純益＝実質業務純益－債券関係損益
4. 投資信託解約損は債券関係損益に計上しております。

(3) 預金・貸出金・有価証券の状況 (単体)

2020年6月末の預金等（譲渡性預金を含む）は、期中1,752億円増加し、4兆4,124億円となりました。これは、金融機関部門で減少した一方で、個人・法人・公金部門では増加したことによるものであります。貸出金は個人向け・法人向けともに増加したことから、全体では677億円増加し、3兆4,208億円となりました。また、有価証券はリスクを見極めながら市場動向に応じた適切な運用に努めた結果、776億円増加し、1兆7,337億円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月末	2020年6月末	増 減
預金等	4,237,248	4,412,495	175,247
預金	3,927,848	4,233,795	305,947
譲渡性預金	309,400	178,700	△ 130,700
貸出金	3,353,056	3,420,851	67,795
うち消費者ローン	819,027	826,992	7,965
住宅ローン	716,764	726,941	10,177
その他ローン	102,262	100,050	△ 2,212
有価証券	1,656,038	1,733,710	77,672

(ご参考) 預り資産残高

(単位：百万円)

	2020年3月末	2020年6月末	増 減
当行グループの預り資産残高	373,492	377,831	4,339
当行の預り資産残高	246,751	250,032	3,281
公共債	13,809	13,057	△ 752
投資信託	60,859	64,785	3,926
年金保険	172,081	172,189	108
ごうぎん証券の預り資産残高	126,740	127,799	1,059

(注) 年金保険には、一時払個人年金保険の販売累計額を記載しております。

(4) リスク管理債権 (単体)

(単位：百万円)

	2020年3月末	2020年6月末	増 減
破綻先債権額	3,870	4,372	502
延滞債権額	40,353	41,055	702
3カ月以上延滞債権額	-	158	158
貸出条件緩和債権額	15,218	15,679	461
リスク管理債権額(合計)	59,442	61,266	1,824
貸出金に占める割合(%)	1.77	1.79	0.02

(注) 当行は、部分直接償却を実施しておりません。

(5) 金融再生法開示債権 (単体)

(単位：百万円)

	2020年3月末	2020年6月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,584	16,681	97
危険債権	28,013	29,208	1,195
要管理債権	15,218	15,838	620
金融再生法開示基準の不良債権額(小計)	59,817	61,728	1,911
総与信に占める割合(%)	1.72	1.74	0.02
正常債権	3,398,191	3,467,680	69,489
総与信(合計)	3,458,008	3,529,408	71,400

(注) 当行は、部分直接償却を実施しておりません。

(6) 有価証券の評価差額（連結）

2020年6月末のその他有価証券の評価差額は、債券で減少しましたが、株式及びその他（投資信託・外国証券）で増加したことから、期中126億円増加の676億円となりました。

（単位：億円）

	2020年3月末				2020年6月末			
	時 価	評価差額	うち		時 価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	15,464	550	709	158	16,236	676	773	97
株式	490	187	207	20	496	217	230	12
債券	8,645	293	296	2	9,174	272	285	12
国債	5,658	260	261	0	6,139	239	250	10
地方債	2,172	16	18	2	2,272	17	19	2
短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	814	16	16	0	762	15	15	0
その他	6,328	69	204	135	6,565	186	258	71

（単位：億円）

	2020年3月末				2020年6月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	827	△ 3	0	4	839	△ 3	0	3

(7) 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率（国内基準）については、現在集計作業中であり、計数が確定次第、別途お知らせします。